

ふれあいプラザに泊まって、

「ふれあいまーす」 & 「たばごまーす」

地域と交流を図る通学合宿に児童33名参加

5月28日木から30日土までの2泊3日、神崎ふれあいプラザに宿泊をしながら学校に通う「通学合宿」に町内小学校児童33名が参加しました。

この合宿は、異年齢との生活や地域の人たちと交流体験をもとに、子ども同士や大人とのふれあいの中から人間関係を深め「生きる力」を育てること、子ども会や青少年相談員・住民のボランティアが支援をすることにより、地域で子どもを守り育て「地域の教育力」を高めることをねらいとしています。

子どもたちは、プラザを拠点に朝・夕の食事の準備や調理、カーリングや茶道の体験を通して地域住民との交流、保健推進員の指導

で、ちらし寿司づくりに挑戦しました。また、風呂は16軒のお宅が提供くださり、支援をしてくれた人々の優しさにふれ、味わったことのない楽しいひとときを過ごすことができました。この通学合宿の活動では、中学生（通学合宿二期生）を含め110名のボランティアの支援があり、安全に配慮しながら多くのことを体験しました。

子どもたちは、「2泊3日の生活で責任をもって行動ができ、班で協力してできたことが良かったです。また、多くの人の協力により、いろいろな体験ができたことを感謝したいです。今年の通学合宿は楽しかったので来年も参加したいです。」と笑顔で話していました。

みんなで協力して作った料理は格別の味！



「ちらし寿司づくり」
「もらい湯宅にお礼をする」



▲お菓子のいただき方やお茶の点て方を体験



▲子ども会の役員や先生方等も含めて記念撮影